

消費者運動ニュース No.1205 2025年 3月25日

CYCLE

発行所 全大阪消費者団体連絡会
 〒540-0026 大阪市中央区内本町2丁目1番19-430
 TEL.06-6941-3745 FAX.06-6941-5699
<https://osakacon.org/>
 発行人 全大阪消費者団体連絡会
 印刷 株式会社 耕文社
 個人購読料 年間5,000円(送料込み・消費税別)
 購読料送金先 (口座名・全大阪消費者団体連絡会)
 郵便振替口座 00900-9-8320
 三井住友銀行天満橋支店 普通預金口座 0969062
 近畿労働金庫大阪中央支店 普通預金口座 1161622

戦後・被爆80年の全国消費者大会を開催

第63回全国消費者大会（大阪消団連は実行委員会 団体）が、2月15日、東京・四ツ谷の主婦会館プラザエフで開催された。統一テーマ「戦後80年、今年こそ平和とより良い暮らしのために学び、行動しよう！」のもと、「生成AIと暮らし」、「平和 被爆・戦後80年」の2つのセッションが行われ、のべ169人が参加した。各セッションの概要は2～3面で紹介する。



平和な暮らしと消費者の権利を求めて

大会実行委員長の田辺恵子さん（主婦連合会副会長）は、「1957年に第1回全国消費者大会が開催され、消費者主権を盛り込んだ消費者宣言が採択された。以降、私たち消費者団体は消費者運動を継続してきた。平和な暮らしと消費者の権利が守られるよう、共に学び行動していくことを願う」と開会挨拶した。

新井ゆたか消費者庁長官からはビデオメッセージが寄せられ、「検討中の消費者基本計画には、デジタル技術の飛躍による取引環境の急激な変化を重要課題の一つとしてとらえ、デジタルリテラシー向上の重要性も盛り込む。消費者を取り巻く変化に対応するため一人一人が知識を習得し、適切な行動を」と大会への期待が述べられた。

日本原水爆被害者団体協議会からのメッセージ

1945年8月6日と9日、米軍が投下した残忍な兵器、核兵器の実戦使用による“地獄”を体験させられた私たちは、無差別に殺された多くの人々の無念の死を胸に刻み、自らの体と心に負わされた傷と絶えず向き合いながら生きてきました。そして、自らの命を削る思いで体験を語り、この原爆被害は受忍できない、ふたたび被爆者をつくってはならないと、運動を続けてきました。

この運動が認められ、日本被団協が2024年ノーベル平和賞を受賞したことは、大きな喜びでした。授賞理由で日本被団協の組織と運動の根幹が理解され、評価されていることに感動し、すでに亡くなった多くの先達とこの喜びを共にしました。しかしまた、今日の、核兵器が使用されかねない国際情勢のもと、日本被団協に授与したことの意義が強調されていることも、見逃してはなりません。

核兵器保有国とその同盟国は、米国の「核の傘」に頼る日本政府を含め、核兵器禁止条約に背を向けています。「唯一の戦争被爆国」を自称する日本政府のこの姿勢は、原爆被害への国家補償を頑なに拒み続けていることと根は同じです。国が起こした戦争による被害をすべて国民は受忍せよという戦争被害受忍論を、許すことはできません。長期化するウクライナ戦争など、市民に犠牲を強いる戦争の一日も早い収束を望みます。

この度のノーベル平和賞受賞を力に、私たちは生きている限り被爆の実相を語り、核兵器廃絶と原爆被害への国家補償実現を、強く歌えて参ります。ともに手を携え、核兵器も戦争もない平和な世界を作り出していきたいと思います。

主な内容

第63回全国消費者大会	1~3
次期食料・農業・農村基本計画学習会	4~5
消費税関西連学習会「生活できる年金へ」	6~8
第6回くらしクリエイティブフォーラム	9
レイチェル・カーソン没後60年記念読書感想文③／4.11グローバル気候アクション	10
5.18センス・オブ・ワンダー出版60年つどい	11
ニュースピックアップ	12